



馬の学校通信

2012. 9 vol.47

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 名古屋市天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX : 052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラムについて

諸事情により、秋のプログラムはお休みさせていただきます。
楽しみにお待ちいただいた皆様、大変申し訳ございません。

ホームページをリニューアルしました

馬の学校のホームページをリニューアルしました。2000年の開設当初は専用のソフトもなく、ワードで作成していました。全くの自己流でしたし、途中からドメインも取得し、HPが2か所のサーバーに混在している状態でした。ずっと気になっていたため、それらを整理して見やすくしました。開設当初のURL (<http://www.u-netsurf.ne.jp/~mine/>) は今年いっぱいで見られなくなりますので、新たに登録をお願いいたします。新URL→<http://www.horseschool.org>



ロンドンオリンピックの動画

今年の夏はロンドンオリンピックで盛り上がりましたね。馬術競技は、テレビでの放送がなく残念でしたが、NHKのホームページからはネット生中継を見ることができました。9月4日現在でも動画の一部を見ることができますので、ぜひ世界一の馬術競技を見てみてください。(残念ながらパラリンピックの動画はありませんでした...)

馬場馬術には、最年長記録となる法華津選手が出場しましたが、惜しくも2次予選には進めませんでした。でも71歳でオリンピック出場というだけでも偉業ですし、馬は力で動かすものではないということの証明でもあったと思います。

馬が教えてくれること②

～相手の気持ちを考えること～

アルムはクォーターホースの女の子。ウマキャンプの際、みんなで「馬カルタ」なるものを作った時、「あ」の読み札はアルムについて書かれていました。

『アルムくん 用もないのに近づくな』

女の子なのに、“くん”なのはご愛嬌として……。そう、アルムは人が近づくと、怒って耳を伏せ、さらに近づくとかみつこうとするのです。そんなアルムの第一印象は「怖い……」でも、しばらく付き合っていると、水をあげる時やポロを取る時にはアルムが怒らないことに気がきます。そして、フリー騎乗などで乗る機会があると、子どもたちの出す指示にきちんと従い、でもスピードは出しすぎないという、最高のパートナーとなります。そこで子どもたちは、アルムが意地悪からではなく恐怖心から怒り、「これ以上は近づかないで」と言っていることを知るのでした。

アルムがどんな気持ちでいるのかを考え、怖がるアルムを責めるのではなく、怖がらないように気をつけるようになった子どもたち。そうすると、アルムも穏やかにになり、さらに子どもたちとアルムとの距離は近くなっていきました。



これ以上
近づかないで



馬の品種③ アパルーサ

アメリカ・北西部原産で、体高が 142 cm～152 cmの乗馬です。18世紀、インディアンのネパース族が、ヨーロッパから持ち込まれたムスタングという種類の馬を再家畜化し、サラブレッドを用いて改良した品種です。体にある斑点が特徴的です。ウエスタン競技や西部劇の映画などでは、見かけることができるかもしれません。

小須田牧場にいるローラは、お父さんがアパルーサ、お母さんがアラブ系のため、アパルーサの特徴である斑点が顔とお尻にだけ出ています。



おすすめの本『馬語手帳 ウマと話そう』

河田 棧 著 カディブックス

馬の気持ちについて、しくさから読み説く手助けになる本です。かわいいイラスト付きですので、子どもから大人まで楽しめます。「もし人間であるあなたが馬語を理解したら、さあ、どんなことが起こるでしょう。まずウマは、『お！』と驚きます。『このいきものはヒトのようにみえるけれど、どうやらウマのことがわかるようだぞ』と、あなたに注意を向けてきます。そして、これまでとは違う態度を取り始めます。」(カディブックスHPより)

*購入はカディブックス (<http://kadibooks.com/>)
あるいは「ゆったりの木」からどうぞ。



馬のひみつ

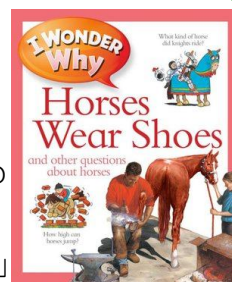
海外には子ども向けに書かれた、馬の本がたくさんあります。世話や乗馬の仕方といったものから、馬について様々な角度から学ぶことができる本まで、多種多様です。子どもたちの疑問に答える形のアメリカの絵本「I wonder why horse wear shoes (なぜ馬は蹄鉄をつけるの?)」の中から、いくつか紹介したいと思います。

Q: どうやって馬の年齢がわかるの?

A: 馬は主に草を食べますが、このような固い植物をむしゃむしゃ食べることは、歯に大きな負担をかけます。馬は年を取るにつれて歯がすり減るために、専門家は馬の年齢を知るために歯を見るといふ方法を見つけました。あなたと同じように馬も、1年に少なくとも2回は歯医者に点検してもらう必要があります。

Q: なぜ馬は蹄鉄をつけるの?

A: 蹄鉄は道路のような固い表面によって蹄が傷つくことを防ぎます。蹄鉄はたいてい鋼鉄でできています。蹄鉄を作ったりそれをつける人は、装蹄師と呼ばれます。蹄鉄は何百年もの間、幸運のお守りとして使われてきました。今日でも、花嫁は結婚式の日にごく小さな蹄鉄を身につけていることがよくあります。



編集後記

夜には虫の音も聞かれるようになり、暑さの中にも秋の気配が感じられるようになってきました。

この夏はウマキャンプができずに、楽しみにしていた子どもたちには申し訳なかったのですが、元ボランティアのシムの「クローバー牧場」で様々な体験をした子どもたちもいて、いろいろなつながりをとても有難く感じました。

さて、私事で大変恐縮ですが、新しい命を授かり、6か月になりました。安定期に入ってからご報告をと思っていましたので、遅くなりましたこと、どうかご了承ください。いわゆる高齢出産となり、無事に出産できるまでは安心できませんが、今は母子一体の貴重な時間を大切に過ごしたいと思っています。当面プログラムをお休みしたり、これまでと同様の活動が難しくなる時期があり、皆様にはご迷惑をおかけすることになります。しかし、この経験を生かして馬の学校のさらなる発展を目指していきたいと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

(峯崎 友香理)